

さあ!

わたしたちの行き先は、
南あわじ市(淡路島)だ!



～暮らしのサポートします～

マイホーム
取得補助
新築**200万円**
中古**50万円**
+若者50万円
+子ども20万円/人
+市内業者30万円

空き家
改修等補助
90万円
+移住者10万円

保育所・
幼稚園
無料
3歳児～

子どもの
医療費
無料
0歳～中学3年生

子育て
学習・支援
センター
が凄い!

南あわじ市では1年を通して農業ができます！

南あわじ市では、夏には水田風景が広がり、秋にはその水田がたまねぎやレタス、白菜などの畑となり、ほぼ1年を通して農業ができる非常に魅力的な農業地帯です。

たまねぎは、稲刈りが終わり、11月中旬から12月に定植し、4月～6月にかけて収穫します。収穫後は水稻の準備が始まります。



淡路島たまねぎ全国4位、冬レタス全国1位 南あわじ市で農業経営を始めよう！

経営モデル1

(新規就農から6年目の夫婦)

レタス 120a
たまねぎ 60a
売上 950万円
経費 450万円
農業所得：500万円

経営モデル2

(新規就農から6年目単身)

レタス 120a
売上 550万円
経費 300万円
農業所得：250万円

経営モデル3

(認定農業者)

レタス 300a
たまねぎ 100a
白菜 50a
売上 2,100万円
経費 1,100万円
農業所得：1,000万円

就農支援制度の概要

青年等就農 計画認定制度	新たに農業を始める方が、農業経営に関する5年間の計画を作成し、その計画に沿って農業を営む方を市が認定する仕組み。計画を認定された方を認定新規就農者といい、各種支援の対象となります。
農業次世代 人材投資資金 【経営開始型】	青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため資金を交付し、早期の経営安定のために年間150万円（最大5年間）の給付を受けることができます。 条件 ◇就農時に50歳未満であること。 ◇認定新規就農者であること。 ◇人・農地プランに位置付けられていること。
青年等就農資金	新たに農業経営を開始する方が、農業用施設や農業用機械を導入する際に利用できる無利子の融資制度。 融資限度額：3,700万円（借入全期間にわたり無利子） 返済期間：12年以内（据置期間5年以内） 条件 ◇認定新規就農者であること。

問：農林振興課（0799-43-5223）



就農とは「地域への就職」



農業は1人ではできません。地域の農業者との付き合いは非常に重要になってきます。
 地域に早く溶け込むためには、日常の挨拶はもちろん、地域で行う草刈りや水路掃除などの共同活動に積極的に参加していく必要があります。また、地域によっては新規就農者を募集しているところもあります。



雇用就農から独立・自営就農へ！



知らない土地へ移住して農業という職に就き「稼ぐ」ということは、住む場所はもちろんのこと、農地を確保する必要があります。また、知り合いがいないなど、様々な不安要素があります。

そこで、南あわじ市では親方制度により、まずは雇用就農して数年後に独立するという仕組みを構築しました。

親方に雇用されることで、給与支払いを受けながら、農業技術を学ぶことができます。また、雇用期間中に地域の方と知り合いになれますので、独立後、農地を提供してもらえるチャンスが増えるという仕組みです。

親方農家の元で研修(雇用就農)



独立・自営就農



**親方の元で
いい経験ができました！**

2年間の研修期間で農業の技術向上や知見を広げることができました。研修中に自分のやりたい農業が見えてきましたし、遠回りした分、就農後はスムーズでした。

雨の日には親方の事務所に行ったりして、今でも勉強させてもらっています。

「ターン」就農者の声

河合幸太郎さん

出身地：大阪府松原市

職業：農業
(淡路島かわいファーム)

移住年：2009年

自然の中で、やりがいを感じる仕事がしたくて

就農前は大手工業ガスメーカーに15年間勤務していましたが転勤が多い上家族との時間も少なく、当時生まれた子どもを見ながら「子どもの成長をじっくり見ずにいるのは嫌だな」と思う一方、経理担当でしたので営業職に比べれば仕事の成績が評価されにくく「本当にやっていることが評価されているのだろうか？」という思いが募っていたところ淡路島のたまねぎ農家で週末農業体験をしないかとの話がありました。

もともと自然が好きなのもあり早速淡路島に出向き週末農業体験を始めたところ青空の下での農作業、休憩時間に畦の上での地元の方々とのふれあい等にすっかり魅了され就農を決意しました。

今ではレタスを中心に2町(2ha)程栽培していて休みはほとんどありませんが、家族との時間を十分確保できていますし、何より仕事に熱中しすぎて日付が変わることもしばしば…。金銭的、体力的にはサラリーマン時代に比べ大変ですが、やればやるだけ成果が上がる仕事ですので精神的には非常に充実した生活を送れています。



～仕事と趣味の両立を求めて

淡路島で農業という選択肢～

私は大阪で団体職員事務として働いていましたが、仕事とプライベートの両立ができていなくて、定年までそこで勤める事にイメージができなかったため、南あわじ市で農業を始めました。

南あわじ市を選んだ理由は京阪神から近く野菜の生産が盛んだったため農業をするうえでとてもやりやすいそう思ったからです。独立後に野菜がうまく作れずに生活に困ることは避けたかったので、兵庫県の農業改良普及センターへ行き、そこで紹介してもらった親方農家のところで3年間研修生として農業を学びました。

研修中は農業ならではのきつい事はありましたがそこで学んだ甲斐あって独立した1年目の1作目から上手くスタートを切る事ができました。

独立後に、収穫した野菜は研修先のところにも出荷できたり、研修中に会った人達が手伝いに来てくれたりと、徐々に淡路島に馴染んできたと思えます。

農業という仕事は会社員ではなかなか味わえない事やライフワークバランスが取りやすくてとてもいい仕事だと思います。

今井 博次さん

出身地：大阪府枚方市

職業：農業(2018年に就農)

移住年：2015年



迫田 瞬さん

出身地：神戸市
職業：農業（2525ファーム）
移住年：2012年

「日本一おいしい淡路島たまねぎ」を作りたい！

2012年7月「日本一おいしい淡路島たまねぎ」を作りたい、一人でも多くのお客様に安全で安心な野菜をお届けしたいという想いで会社を設立。

いつも明るく、楽しく、にこにこ働きたいという迫田の仕事への想いから農園を「2525（ニコニコ）ファーム」と名付けました。

2012年から数々の挑戦を重ね、2016年7月「土から考える」をテーマに自社栽培のブランドたまねぎ「蜜玉（みつたま）」を商標取得し、翌年から全国での販売をスタート致しました。

2015年に1名、2017年に2名スタッフの雇用を行い、農業従事者を増やす取り組みも行っていきます。スタッフ自ら考えて行動する事を大事にし、個々に目標を持って仕事に取り組んでいます。

また収穫体験を行う事や、お取引先様の店舗での試食販売会に参加させていただく事、Facebookページでの日々の農場からの情報発信で、お客様とのコミュニケーションを取る事を大切にしております。

日々、農への考えこだわりを進化させながら、「蜜玉」はもちろん、どの野菜も安全・安心を追求した生産への挑戦を続けています。



お父さん、お母さんが作った野菜っておいしい！

夫は移住前、朝早くから夜遅くまで働き、家族との時間がほとんどもてませんでした。

「家族との時間を大切にしたい」

「学生時代から興味があった『食』に関わるモノ作りがしたい」

という思いで、農業へ転職しました。

私は、以前から淡路島のような自然が豊かで、野菜をはじめとする食材に恵まれている淡路島で子育てがしたいと思っていました。

夫は農業法人に採用され、私も南あわじ市地域おこし協力隊に採用された縁で、南あわじ市に移住しました。

農業という経験のない職業をやっているのか、地元の人に受け入れられるかなどの不安もありましたが、地域のイベントへの参加などをきっかけに地元の人との仲も深まり、今では、家族みんなで淡路島の生活を満喫しています。

地域おこし協力隊を卒業してから、任期中の経験を生かそうと、私自身も「農家さんになりたい」と思い、野菜を育て始めています。

* 地域おこし協力隊では、農畜水産物直売所美菜恋来屋（みなこいこいや）で活動していました。

大田 志穂さん

出身地：堺市
職業：農業
移住年：2016年



子育てにやさしいまち

出逢い

ハッピーマジックの会
独身男女の
交流の場をサポート
イベントの開催、
縁結び相談

結婚

新婚世帯家賃補助
民間賃貸住宅の家賃を月額上限
1万円又は**5千円**助成
特定不妊治療費助成
治療1回あたり上限**10万円**
助成(県助成に上乘せ)

妊娠・出産

妊婦健診費助成
健診回数14回以下に対して、
上限98,000円の助成券発行
出産祝金
第1子・第2子の出産**3万円**
第3子以降の出産**10万円**
を祝金として支給

子育て情報



毎年発行のハンドブックで
情報チェック!



子育て相談

子育て支援コンシェルジュ
子育ての悩みや困りごとについて、
コンシェルジュと一緒に考え、
悩みの解決や一人ひとりに合わせた
子育て支援サービスの情報
をお伝えします

子育て応援

子育て応援優待カード
満18歳未満の子どもを養育している
家庭に協賛店の各サービスが受けられる
カードを発行
在宅子育て応援事業
3歳児～5歳児の在宅保育家庭に
年間**6万円**助成、
市内6施設無料パスポート発行

全国に先駆けて、
3歳児以降保育料
無料は、助かります

家族が笑顔で暮らせるように
南あわじ市で一緒に
子育てを楽しみませんか

子どもをのびのびと
育てられる環境の中
で、子育ての楽しさを
実感しています



出逢いから子育て サポートします

保育所(園)・幼稚園 認定こども園

全国に先駆けて
3歳児以上

保育料・授業料 **無料!**
※給食費等除く



就学～

入学祝金

小学校の第1学年に新入学時に

1万円の祝金を支給

学童保育

小学1～6年生の児童を対象に

市内11校区で開設。平日の
月～金曜日18時まで
できます



学生・社会人

通勤・通学者
交通費助成

高速バス等利用による島外通勤・島内
外通学者に交通費の一部
(20～30%)の助成



地域の応援

ファミリー・
サポート・センター

会員登録でさまざまな用事の時、
子どもの一時的預かりを利用する
ことができます



医療費

0歳～中学3年生まで

通院費・入院費 **無料!**

※所得制限あり



ゆめるんセンター

(子育て学習・支援センター)

0歳～就学前のお子さま対象に親子

の交流や子育て相談ができる

子育てひろば。常設の園庭、

絵本や遊具が充実したプレイルームで

遊ぶことができ、年齢別、季節ごとの

イベントも多数開催



婚姻届



出生届



ウェルカムフォトコーナー (市役所内)

来庁や戸籍届出の際、記念撮影できます。

ゆめるん

南あわじ市子育て応援シンボルキャラクター

南あわじ市で「松帆銅鐸」が発見されたことから、ゆめるんも弥生時代の衣装「貴頭衣」にチェンジ!

南あわじ市へ移住するためには、住むための家探しが必要になってきます。理想のマイホームを新築したい、古民家に住みたいなど、様々なライフスタイルに応じた支援を行っています。

ふるさと創生課 (0799-43-5205)

家を新築・購入する

- マイホーム取得事業補助金（事業期間：令和7年3月まで）
淡路島外から転入し、居住を目的として住宅を建築又は購入される方へ、住宅取得費用の一部を補助します。（転入等要件あり）

基本補助金	新築住宅、建売住宅	200万円（上限）
	中古住宅（市の空き家バンク登録）	100万円（上限）
加算補助金	中学生以下の子どもがいる場合	1人につき30万円

空き家を利用する

- 空き家バンク制度
市内にある空き家を有効的に活用し、南あわじ市に移住・定住を考えている方々に、窓口やホームページ、定住促進サイト「住みニコ（<https://www.suminiko.jp/>）」などを通じて情報を提供しています。
- 定住促進空き家活用支援事業（事業期間：令和5年3月まで）
改修工事費 最大100万円
空き家バンクに登録された空き家を改修し活用する方に対して工事費等の一部を補助します。（30万円以上の工事）

	島内在住者	島外在住者	補助率
改修工事	100万円（上限）	100万円（上限）	1/3
家財道具等の処分費用	5万円（上限）	5万円（上限）	
登記に関する費用	10万円（上限）	10万円（上限）	10/10
引越しに要する費用	-	10万円（上限）	
合計（最大）	115万円	125万円	

○空き家活用支援事業／県

住宅・事業所最大150万円、地域交流施設最大500万円
空き家の有効利用や地域の活性化を図るため、一戸建ての空き家を住宅や事業所、地域交流拠点として活用する場合の改修工事費等の一部を補助します。

対象工事費	住宅型		事業所型	対象工事費	地域交流拠点型
	一般世帯	若年・子育て世帯			
100万円以上 150万円未満	50万円	75万円	-	100万円以上 200万円未満	75万円
150万円以上 200万円未満			66万円	200万円以上 400万円未満	150万円
200万円以上 250万円未満	83万円	125万円	100万円	400万円以上 600万円未満	250万円
250万円以上 300万円未満				600万円以上 800万円未満	350万円
300万円以上 350万円未満	100万円	150万円	133万円	800万円以上 1,000万円未満	450万円
350万円以上 400万円未満				1,000万円以上	500万円
400万円以上 450万円未満				150万円	
450万円以上					



※共同住宅を改修する場合、補助金額は上記と異なります。別途お問合せ下さい。

社会貢献活動をする

- おもいやりポイント制度
南あわじ市では、市民の生涯活躍を応援しています。人手不足で悩む施設での活動をポイント化し、貯まったポイントを市内の商店で使える商品券等と交換できる「おもいやりポイント制度」の参加者を募集しています。ポイント制度の活動は、高齢者福祉施設での傾聴・話し相手や喫茶補助、幼保こども園での絵本の読み聞かせなど参加者の意欲と体力に応じて活動可能です。
<http://www.minamiawaji-omoiyari.com/bpoint/top/>

建設課 (0799-43-5226)

住宅を耐震化して利用する

【ひょうご住まいの耐震化促進事業】（昭和56年5月以前着工の住宅が対象）

- 住宅耐震改修計画策定補助
最大20万円（補助率2/3） 耐震改修計画の策定、耐震診断に要する費用
- 住宅耐震改修工事費補助
最大130万円（補助率1/3） 耐震工事に要する費用
- 簡易耐震改修工事費補助（部分型）
定額50万円 耐震改修計画の策定、耐震改修工事費に要する費用
- シェルター型工事費補助（部分型）
定額50万円（50万円以上のものに限る）
- 屋根軽量化工事費補助（部分型）
定額50万円（50万円以上のものに限る）
- 住宅建て替え補助
定額100万円（100万円以上のものに限る） 住宅の現地立替に要する費用
- 防災ベッド等設置補助
最大25万円 防災ベッド、木質耐震シェルター等の購入・設置に要する費用
- 簡易耐震診断
無料 市が派遣した登録診断員が住宅の耐震性を評価します。

市営住宅も充実

- 市営住宅
市内には48団地、764戸の市営住宅があります。募集する団地や戸数は、空きがあった場合に随時公募します。「広報南あわじ」「市ホームページ」でお知らせしています。

商工観光課 (0799-43-5221)

淡路瓦を利用する

- 淡路瓦屋根工事奨励金
淡路瓦を使用した住宅の建築主に対して奨励金を交付します。屋根面積が20㎡以上の住宅で、新築又は葺替（8割以上）した方。
110㎡未満最大10万円（補助率1/5）
110㎡以上最大15万円（補助率1/5）
150㎡以上最大20万円（補助率1/5）

田舎暮らし(南あわじ市)で暮らす8箇条

「田舎暮らし」は、のんびりと自由な暮らしができると思いを馳せるのも楽しいものですが、交通インフラや娯楽施設などはあまり整備されておらず、実際は都会の生活と勝手が違うことがたくさんあり、イメージだけで移住されると理想と現実のギャップに困惑されることと思います。

しかし、田舎では、都会にはない豊かな自然や豊富な食材、伝統文化や歴史が多く残っており、心豊かな癒しの時間を過ごすこともできます。

そこで、南あわじ市での田舎暮らしを始める前に、知っていて欲しいことを「田舎暮らし8箇条」としてまとめてみました。

【南あわじ市で暮らす 田舎暮らし8箇条】

第1条 まずはご相談を！

どの地域で、どんな暮らし方をしたいのか、生業はどうするのか、などのアウトラインが決まったら、まずは相談してください。その際、行政などの公的機関、NPOや相談窓口、移住の先人たちにお話を聞き、本音を知ることも参考にして下さい。

第2条 田舎暮らしに自動車は必須

淡路島には電車が存在しないため、便利な暮らしをする上で自動車は必須となります。路線バスや市のコミュニティバス「らんらんバス」が走っていますが、大都市のような充実した路線数やダイヤでないため、自分時間で行動する場合は自動車が必要で。

第3条 田舎ならではの仕事は本気で！

南あわじ市には農林水産業など田舎ならではの仕事が多くあります。「田舎で農業をしたい」場合、本格的に農業をするなら、まずは南あわじ市農林振興課やひょうご就農支援センターへの相談をおすすめします。また、漁業など自然を相手にした仕事も日本の将来のためにぜひ検討してみたいはいかがでしょうか？

第4条 仕事を決めてからの移住が堅実

淡路島の雇用情勢は都市部と比較して十分とは言えません。先にハローワークなどで就きたい求人があるかを下調べすることをおすすめします。移住してから仕事を探す場合は、十分その期間をとっておきましょう。

第5条 物件探しは現地に足を運びましょう！

物件を決める際、「百聞は一見に如かず」のことわざどおり、現地に足を運び、自分の目で見て気に入った物件を探し、周りの環境や地域の事を知った上で決めるのが賢明でしょう。インターネットに掲載されている不動産物件を見ただけで決めることは極力避けましょう。

第6条 家庭菜園は30坪で充分

物件探しの際、畑がついてることを条件にあげられる方がいらっしゃいます。高齢化により休耕している田畑も増えてきていますので、まずは、地域に溶け込んでから休耕している田畑の一部を借りても遅くありません。家庭菜園は30坪(100㎡)が目安です。

第7条 田舎は人との付き合いが肝要

田舎は都会とは全く異なり、近所を始め、濃密な人間関係があります。「山の中で一人暮らし」は、ほぼ不可能です。地域によって「草刈り」などの共同作業の出役がある地域も数多くあり、地区費など集金がある場合もあります。地域の行事はできるだけ参加するようにしたいものです。

第8条 お試しで暮らそう！

地域・集落によって雰囲気や移住者に対する受け入れ方は大きく違います。最初から永住の地と決めてしまわず、まずは週末滞在や二地域居住、またはアパートや借家に住み、希望のライフスタイルを実現できる地域を時間をかけて探すこともおススメの方法です。

あなたの“あわじ”暮らしを応援します！

あわじ暮らし総合相談窓口（県受託者：NPOあわじFANクラブ）

「自然豊かな環境でのびのびと子どもを育てたい」「農業による生活を実現させたい」など一人ひとりが希望するライフスタイルに応じた「あわじ暮らし」の実現をサポートします。

淡路島（南あわじ市・洲本市・淡路市）に移住希望の方は、個別相談も実現しています。

問：あわじ暮らし総合相談窓口（NPOあわじFANクラブ）

〒656-0002 兵庫県洲本市中川原町中川原92-1

TEL：090-1247-1589 E-mail：info@awajigurashi.com

<http://awajigurashi.com/>

開設時間：9：00～17：00（面談は事前予約が必要です。）



吉備国際大学農学部

南あわじ市には吉備国際大学農学部があり、南あわじ全体をフィールドとして農業を学ぶことができます。

また、大学内には“植物クリニックセンター”が設置されており、たまねぎやレタスのほか、イネや各種野菜、果樹、花きなどの病原菌について、これまでの豊富な経験を生かして薬剤耐性を診断してくれます。

農家にとっても心強い機関が身近にあります。



吉備国際大学就農支援プログラム



吉備国際大学では将来の職業に“農業”という道を考えている学生に対して、就農支援を実施しています。

- インターンシップ……農家の元で数日間、農業体験をすることができます。
- 各種講座の開催……新規就農者から就農までの苦労話や農業のやりがい、移住者から田舎暮らしのお話を聞くことができます。
- きびこく女子活動……女性の就農に関する情報が乏しいため、兵庫県下の女性農業者を訪ね、就農の経緯等を聞くことができます。

兵庫県最大級 農畜水産物直売所 美菜恋来屋

(みなこいこいや)

南あわじ市には大型直売所があり、少量多品目で野菜を栽培される方についても、直売所で販売することができます。

入会金：1万円 年会費3千円

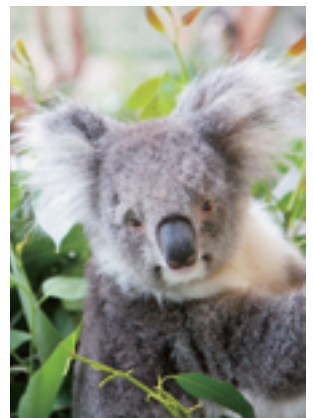
Tel：0799-43-3751



淡路ファームパーク イングランドの丘

湖と美しい緑に囲まれ自然とふれあえるイングランドエリアでは、羊とのふれあいや、野菜の収穫体験も楽しめます。ロックガーデンや大温室など世界の花が咲き誇るグリーンヒルエリアでは、世界のウサギと出会えるラビットワーレンや人気者のコアラなどかわいい動物に出会えます。南あわじ市民には、身分証明書を提示することで入園料無料となります。

Tel：0799-43-2626



南あわじの四季

春



・うずしお観潮船

鳴門海峡は世界三大潮流の一つに数えられ、「渦潮」は世界に誇るべき自然遺産。うずが最も大きくなる春には直径約30mにもなります。咸臨丸・日本丸で渦潮の真上まで行き、迫力のある渦潮を体験してみませんか。TEL：0799-52-0054（うずしおクルーズ）

夏



・阿万海水浴場

マリンブルーの海と白くなめらかな砂浜が特徴。夜には海ほたるの青白い光がただよいます。

TEL：0799-43-5221
（商工観光課）

秋

・慶野松原の夕日

古くは万葉集にも詠まれ風光明媚で知られる景勝地。数万本の松林に囲まれた2.5kmに及ぶ美しい砂浜は、「日本の渚百選」「快水浴場百選 特選」「日本の夕陽百選」に選ばれています。四季を問わず見られる夕日は、特に秋から冬がおススメです。

TEL：0799-43-5221（商工観光課）



冬

・灘黒岩水仙郷

島の南部に位置する標高608mの諭鶴羽山から海に続く45度の急傾斜地に、約7haにわたって500万本もの野生の水仙が咲き誇り、12月下旬から2月下旬にかけて白い花と甘い香りで包まれます。

風にそよぐ様は壮観で、淡路島の冬の風物詩となっています。

TEL：0799-56-0720

（灘黒岩水仙郷：季節限定）



MAP 南あわじ市の紹介

市内には、学校や保育所・幼稚園が多くあり、充実した子育て環境が整っています。また、総合病院や診療所もあり、大型スーパーや商業施設も多数あります。普通の買い物にとっても便利です。

- Ⓜ 病院
- 📖 図書館
- 🎓 大学
- 🎓 高校
- 🎓 小・中学校
- 🏫 幼稚園
- 🏫 保育園
- 👶 子ども園



南あわじ市は日本のココにあります



- 〈基本データ〉
- ◆ 南あわじ市の面積：229.01km² (H27国土地理院)
 - ◆ 平均気温15.8℃、平均総降水量1,582mm、平均年間日照時間2,151時間 (H24～H26平均数値)
 - ◆ 人口49,046人、世帯数19,153世帯 (H27年度末住民基本台帳) 人口密度214.2/km²



南あわじ市へのアクセス

- 飛行機** 東京(羽田空港)から神戸空港まで約70分
東京(羽田空港)から徳島空港まで約70分
- 自動車** 大阪から西淡三原ICまで約100分、神戸から西淡三原ICまで約65分、神戸空港から西淡三原ICまで約80分、徳島空港から西淡三原ICまで約40分
●本州からは、垂水JCT経由(神戸淡路鳴門自動車道)⇒明石海峡大橋⇒西淡三原IC(または淡路島南IC)から各地へ
●四国からは、神戸淡路鳴門自動車道⇒大鳴門橋⇒淡路島南IC(または西淡三原IC)から各地へ
- 高速バス** 神戸三ノ宮から陸の港西淡まで約80分、福良まで約100分
●神戸三ノ宮、高速舞子から乗車。東京・関空・枚方・名古屋からは志知バスストップで降車
- 旅客船** 明石～岩屋、土生～沼島の各線に乗船

お問い合わせ

南あわじ市役所 Tel: (0799)43-5001 〒656-0492 兵庫県南あわじ市市善光寺22番地1
Fax: (0799)43-5101 南あわじ市HP <http://www.city.minamiawaji.hyogo.jp>

●移住・定住に関すること

総務企画部ふるさと創生課(南あわじ市定住促進協議会)
Tel: (0799)43-5205 Fax: (0799)43-5305
E-mail: furusato@city.minamiawaji.hyogo.jp

南あわじ市定住促進サイト(住みニコ)
<http://suminiko.jp>

住みニコ 検索

●就農に関すること

産業建設部農林振興課(南あわじ市就農支援連絡協議会)
Tel: (0799)-43-5223 Fax: (0799)-43-5323

南淡路農業改良普及センター(南淡路地域就農支援センター)
Tel: (0799)-42-0649 Fax: (0799)-42-4885